

鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会 第5回会議会議録

1 日 時 令和7年3月24日（月） 午前10時から11時40分まで

2 場 所 鴨川市文化財センター学習室

3 出席者

（1）委 員

	氏 名	分 野	備 考
1	佐藤 恵重	学識経験者	
2	吉田 明子	学識経験者	副会長
3	庄司 政夫	文化財保存団体	会長
4	石田 三示	文化財保存団体	
5	荻野 泰継	文化財所有者	
6	久保寺 辰彦	ボランティア団体	
7	刈込 信道	観光関係団体	
8	四柳 隆	千葉県	代理 文化財課指定文化財班 班長 黒沢 崇
9	野村 敏弘	鴨川市	
10	鈴木 克己	鴨川市	
11	山口 昌宏	鴨川市	

※欠席

	氏 名	分 野	備 考
1	千野 祐輔	文化財所有者	
2	原田 洋美	ボランティア団体	

3	山口 直矢	商工関係団体	
4	角田 敬夫	鴨川市	

(2) 市

	所属・職	氏名	備考
1	教育長	鈴木 希彦	
2	教育委員会生涯学習課長	岡安 泰弘	
3	教育委員会生涯学習課 課長補佐	岡安 晃広	
4	教育委員会生涯学習課 文化振興係長	畑中 博司	
5	教育委員会生涯学習課 文化振興係	永井 宏直	

(4) 傍聴者

0人

4 資 料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・出席者名簿
- ・資料1 鴨川市文化財保存活用地域計画
- ・資料2 保存活用に関する取組対応表
- ・第4回会議会議録

5 会議内容

(1) 開会（午前10時）

(2) あいさつ

鈴木教育長

庄司会長

（３）議事

鴨川市文化財保存活用地域計画策定協議会開催要領第６条の規定により、庄司会長が議長となり、議事進行を行う。

議長が荻野泰継委員を会議録署名委員として指名した。

議事１ 鴨川市文化財保存活用地域計画について

資料１により、事務局から説明した。

コメント及び質疑等は、次のとおり。

黒沢氏（千葉県教育庁教育振興部文化財課指定文化財班長）

私も文化庁との協議と一緒に出席し、現地視察も同行した。そのとき指摘を受けたところはほとんど直っているし、非常に読みやすくなっているの、このペースであればスムーズにいくと思う。今日、疑問点等は早めに言っていただければ間に合うと思うので、協議をよろしくお願いしたい。

全体的なところだが、文化庁のほうに現地視察を終えたとき、資料２にあたる取組対応表にどの程度の指摘があったのか確認したい。対応表の取組主体の市のところで、生涯学習課とその他の課の名称がわかるようになっているのだが、共同連携が少なめには見えてしまう。凡例に市民生活課はあるが、事業は確認できなかったのもう一度確認してもらいたい。また総務課、健康推進課、商工観光課との連携など、プラスになる方向というのはもう全くないのかどうかを再度確認したい。

事務局・畑中

資料２について、２月初旬に文化庁に送り、指摘を受けて整理したものを２月中旬に再度送った。文化庁からは、整理できつつあるとあった。

次に庁内連携は、凡例に課はあるが事業がないというところは確認する。担当者レベルでいま打ち合わせをしており、ここに記載したものは概ね大丈夫だということなのだが、記載のない部分で提案をいただいている課もある。いま整理をしている途中で、素案段階ではもう少し数が増える可能性もある。

石田委員

大山千枚田は現在県指定名勝に指定されていて、調査を終えていると書かれているが、いったい市としてこの先どうするのか。重文を目指すのか、文化的景観の選定を目指すのかどうか、というところが見えていないので、その辺はどうなのか。

事務局・畑中

大山千枚田については、文化的景観という新たな文化財の類型が制度化された際に、選定に向けて取り組んできた経緯がある。平成１６年１７年くらいのことで、個別の保存活用計画を作成したが選定まではいかなかった。その理由としては、庁内の連携不足、あとは大山千枚田よりも広い範囲が対象となることから準備不足ということだった。

そして、生涯学習課と都市建設課、都市計画を担当する部署との連携によって進めるということになるかと思う。現状、いまずぐ進めるということは申し上げられないが、大山千枚田は文化的景観に選定をされる可能性は十分あると思うので、引き続き庁内連携と地域との情報交換に努めていきたい。

石田委員

たぶん千枚田の周辺に関して、当時のしぼりはかなりきつかったのだと思う。いろいろ聞くとところによると、そのしぼりはゆるくなっているようなので、いまであれば選定される可能性としては非常に高いと思える。是非、重要文化的景観の選定を目指していただきたい。ブランド化するという中にも組んでいただければありがたい。

庄司会長

千枚田の周辺に関するしぼりが今はゆるくなっている、もしそれが本当であれば選定を目指して良いのではと思うので、事務局によく調べていただいて、是非お願いしたい。

久保寺委員

29 ページ③動物・植物・地質鉱物の最終行で、県指定天然記念物 5 件、市指定天然記念物 8 件、計 15 件というのは、これは間違いか。

事務局・畑中

資料 1 の 25 ページにその表がある。国指定が 2 件（鯛の浦タイ生息地と清澄の大スギ）。加えて、県の天然記念物が 5 件。市指定天然記念物が 8 件。計 15 件である。29 ページ前半の文章に、国指定の 2 件というのをに入れて計 15 件、というかたちでわかりやすく表現したいと思う。

久保寺委員

もう 1 件、最後のほうに大学の名前がたくさん記載されていて、関係団体と協力体制とある。先日、日本女子大学の古川先生と卒論を書いた女子学生に、郷土史研究会の【みんなの郷土史教室】で長安寺の原田祖岳について発表してもらった。現在、同大学の史学部は長安寺に残されている経文をずっと調査研究していて、その経文はかなり歴史的価値が高いそうだ。大般若経だろうか。それを保存、埃を払ったり修復したりしているのだが、そのようなことを市としては把握しているか。

事務局・畑中

吉尾地区の長安寺の住職、それから日本女子大学の古川先生から連絡をいただいて、市史編さんの佐藤委員と一緒に何度か足を運んでいる。鴨川に関連するものを調査していただいております、その内容については、指定文化財に相当するもので、大般若経 600 巻がほぼすべて揃っているというような情報もいただいているので、順次対応する予定である。

石田委員

12 ページの動物の記述のところだが、哺乳類はほとんど入っていないが、これはどういう観点なのか。文化財、昔からいる鳥などに特化して書いてあるとすればそうなのかもしれないが、植物はセイタカアワダチソウなどの帰化植物のことにもふれているのに、動物はいま非常に増えている猪や鹿といったところは全く入っていないので、少し手落ちな感じがする。

事務局・畑中

「爬虫類、両生類、哺乳類、昆虫類」で少しまとめすぎてしまっている部分もあるので、もう少し丁寧に記載する。

佐藤委員

動物については、猪・キョン・猿・鹿なども含めると、害獣被害という面も検討しておく必要がある。植物のところでは外来・帰化植物のような記載があるので、やはり動物のところにもそういう視点から記載があってもいい。動物を将来的に保護、活用していくためには、市役所の他の課、あるいは猟友会などとの連携が必要だ。その他、自然景観などでソーラーなどの問題もしっかり検討しておかないと、将来に禍根を残すこともあり得る。

37 ページ鴨川市の歴史文化の特性のところでは、地区ごとの鴨川文化遺産が載っている。例えば江見地区の中世から近世に「牛洗いの行事」とあるが、そのほかにも根古屋城など名前とか地質とかの関係も含めてまだまだいろいろたくさんあるので、また気が付いたことをお知らせしたい。

38 ページ頼朝と日蓮の痕跡が随所にあるというところで、長狭地域の中世には正木氏のことも入っているのではないかと。館山市も同じようなことを計画、検討をしているように聞いているが、おそらく里見氏が出てくるはずだ。里見氏と正木氏は安房の中世を考える上で、特に鴨川の場合には正木氏の存在というのは非常に大きいものがあった。ただほとんどわからないというのが実情なのが少々難点だ。

最後に、これだけの計画を進めていく上ではやはりマンパワーが大事だ。市民の理解、議会の理解、そして市役所内の理解、それらを考えていかないと、現在の体制だけでは非常に担当者が大変になると思う。一部に負担が押し付けられるだけでは進められないので、総合的にみんなでどのようにしていくのか市長にも考えてもらい、市、市民全体でバックアップできるようにするための啓発等もふまえてやっていってもらいたい。やはり多くの人の協力を得たほうがスムーズに進むと思うし、何もないものを新しく作るというよりは、いまあるものをどのように活用するかということが中心になる。市民の持っているもの、財産になっているものをどのように活用するかということだから、たくさんの市民に関わりがあるものだと思うので、そういう視点から考えていったほうがいい。

事務局・畑中

今後の推進体制、つまり計画ができて終わりではなくて、その後実行していく部分が大切で、それに対する体制の整備をしなければいけない。

荻野委員

私ども（誕生寺）の関係しているところでは、特に間違ったところはない。

刈込委員

私は観光協会の代表として出席している。

この計画表で見ると、内容は精査された上でというかたちにはなっているのだが、それ以前、現状私の所属する会社では、清澄寺にご協力いただきながら、文化交流的なツアー、体験ツアー等、すでに対応している。計画の途中であっても情報などはいただけるのであれば逐次、昨今のインバウンドなどに対しても非常に有効なアイテムになっていると思っているのでよろしくお願いしたい。

庄司会長

行政からの委員の方々には、最後の委員会のときに意見をいただく。

黒沢氏（千葉県教育庁教育振興部文化財課指定文化財班長）

かなり綺麗に整ってきたと思う。今日、貴重な意見をいただき本当にありがたい。
また気づいた点は、早め早めに事務局に伝えていただければ、よりスムーズに計画策定に向けて動けるのでご協力をお願いしたい。

吉田副会長

このアンケートにあるような声、委員の皆様からいただいた声を本当にその通りだと思う。鴨川市にはせっかくこのような資源があるのだが、なかなか皆さんの心に届いていなかったということもある。

この資料はとても細かいところまで拾い出してあり、大変な努力があつてこのようにまとまったものになってきていると思うので、これを是非活用して、観光もちろんだが、市民の小さいお子さんからお年寄りまでの話題にのせていただけるような、鴨川市の資源がもっと広く知られて、そこがベースになって次の世代へ次の世代へと語り伝えられていくといいなとつくづく思っている。

庄司会長

また何か気づいた点があつたら、事務局へお伝えいただきたい。他に意見がないようであれば、議事の（１）は終了する。

議事２ その他

事務局・畑中

今後のスケジュールについて、本日の会議内容をもとに修正を加え、改めて文化庁と協議し、それをふまえて再度修正する。４月末を目途として素案を完成する。５月もしくは６月に委員皆様に紙面で素案を送り、意見を伺う。その意見を反映したものをもってパブリックコメント、つまり市民の方にも見ていただく機会、場に進むことと考えている。そして、市民の皆さんからいただいた意見をもって計画の最終案を作成し、７月までに最後の会議を開催する。日程について

は改めて調整する。

庄司会長

パブリックコメント実施に関する周知は、鴨川市のホームページ上だけでなく、あらゆる媒体を通じて市民の皆さんに、市内外に発信できるような方法をとっていただくよう、よろしくお願いいたします。

他に意見、質問等がなければ、本日の議事は以上とする。

（４）閉会（午前 11 時 40 分）